

スカパーJSATグループ 2016 年度 下半期番組審議会

(スカパーJSAT 第 27 回、スカパー・エンタテインメント第 20 回)

開催年月日：2017 年 1 月 30 日（月）

開催場所：スカパーJSAT 株式会社 経営会議室

出席者

（審議委員）

委員数：7 名

出席委員数：4 名

審議委員長：高畑 文雄

委 員：崔 洋一

委 員：二宮 清純

委 員：草野 満代（新任）

（スカパーJSAT グループ）

西山 茂樹：（スカパーJSAT(株) 代表取締役 執行役員会長）

高田 真治：（スカパーJSAT(株) 代表取締役 執行役員社長）

小牧 次郎：（スカパーJSAT(株) 取締役 執行役員専務 有料多チャンネル事業部門長 兼 放送事業本部長）

古屋 金哉：（スカパーJSAT(株) 執行役員 有料多チャンネル事業部門 カスタマー事業本部長）

奥内 哲也：（(株) スカパー・エンタテインメント 代表取締役社長）

上田 徹：（スカパーJSAT(株) チャンネル運営部長）

渡部 康弘：（スカパーJSAT(株) チャンネル運営部 チャンネル運営チーム長）

前川 利泰：（スカパーJSAT(株) スポーツコンテンツ事業部 スポーツ開発事業チーム長）

小松 利光：（スカパーJSAT(株) チャンネル運営部 チャンネル運営チーム）

長内 敦：（スカパーJSAT(株) チャンネル運営部 チャンネル事業チーム）

藤田 一真：（スカパーJSAT(株) スポーツコンテンツ事業部 スポーツ開発事業チーム）

審議番組（1）平成 28 年度富士総合火力演習「そうかえん」

◆放送概要

放送日：2016 年 8 月 28 日（日） 10：00～12：00 生放送

放送チャンネル：スカパー！4K 総合／BSスカパー！

◆放送コンセプト

・陸上自衛隊が行う演習の中で最も人気がある演習を、陸自提供映像ではなく独自の 4K カメラを設置して生中継。

→ほかのネットライブ配信のプラットフォームと異なり、オリジナルの映像制作（4K 映像、実況・解説付き、テロップ表示等）で、中継。

- ・4K のスーパースローカメラを投入し、発射から着弾までワンカットで押さえられる画格、よりダイナミックな映像で、迫力ある臨場感を追求した表現により、実演の模様を中継。
- ・視聴者の反応として、視聴動向数は、到達世帯数（生中継視聴）は放送月（8 月度）の BS スカパー！放送番組内で第 2 位、録画視聴含めた最大到達世帯数は、同月第 3 位。

審議番組（2）BS スカパー！オリジナル連続ドラマ「弱虫ペダル」

◆放送概要

放送日：2016 年 8 月 26 日（金）～毎週金曜日 ※全 7 話

放送チャンネル：BS スカパー！

◆放送コンセプト

- ・「人気連載中の原作」×「2.5 次元舞台」×「ロードレース」がポイント
 - 原作累計発行部数 1600 万部の人気連載中原作の実写ドラマを、映画・地上波に先駆けて制作・放送。
 - 人気の 2.5 次元舞台「弱虫ペダル」からキャストをそのまま起用。2.5 次元を 3 次元に引き上げる「舞台（2.5 次元）⇒映像（3 次元）」への挑戦。（ターゲットの明確化）
 - 実写ならではの「ロードレース」の魅力・迫力を忠実に表現、7 月開催のサイクルロードレース（他チャンネルの中継）に連動したプロモーションを図る。
- ・新規加入・視聴継続とも、過去ドラマを大きく上回る結果を樹立。
 - 新規加入の 7 割が女性、年代別も 20-30 代で半数を超える。
- ・視聴者の SNS 反応は好意的なものが多く、家族で視聴しているケースが多いのも特徴。CG 合成に関する不満が散見された。

活動報告 プロバスケットボール「B.LEAGUE」放送開始

◆放送概要

- ・リーグ開催期間：2016 年 9 月 22 日開幕～2017 年 5 月まで（全 18 クラブ）
 - 初年度スカパー！では 10 月より放送開始
- ・リーグ総試合数：540 試合
 - スカパー！での放送予定試合数：370 試合程度
- ・新セットの組成：「B リーグセット」（2480 円/月）
- ・セット構成チャンネル：日テレジータス、日テレ NEWS24、FOX スポーツ&エンターテインメント、GAORA SPORTS、J SPORTS 3、スカイ・エー、スカチャン、BS スカパー！
- ・製作著作および中継制作：B.LEAGUE

◆放送コンセプト

- ・新たに誕生する「プロ・スポーツコンテンツ」を有料放送として取組み。競合 PF との差別化による新規加入獲得&既存顧客の満足度向上
- ・プロ野球等メジャースポーツのオフとなる秋～冬期間において、新たな新規加入獲得&長期契約コンテンツの開発

<審議委員よりご意見>

審議番組（１）平成 28 年度富士総合火力演習「そうかえん」

- ・このような演習は、各国、軍事パレードや合同訓練等、ニュース等で紹介されるが、ある種「ショーアップ」したものの。一方、訓練目的としては、（現実的に具体的な地域等を想定した）防衛訓練でもある。戦争そのものには嫌悪感がありつつも、（人間ドラマとしての）戦争映画や、ゲーム感覚のウォーゲームを楽しむ、という感覚があるのもわかる。ただ、この演習は（現実でもあるので）テレビメディアがこれを番組とするのであれば、それなりの覚悟と思慮深さがもう少しあってもいい。
- ・着弾地点に 4 K カメラは設置できなかったのか。
 - ⇒カメラ設置位置、中継者の停め位置等には制約があり、指定されている（ので、難しい）。一度設置すれば、その後のカメラ操作（スイッチング）等には特に制約はなかった。
- ・（観覧チケットが）29 倍の倍率の人気ということに驚いた。また、いち視聴者として番組を見ていてすぐ揺れる。これをエンターテインメントとして見てしまっている自分にも、また（この演習は）国の中でどういう位置づけなんだということも探ろうとするし、（29 倍の倍率を当選した）観覧者はどういう気持ちで集まって来ているのか、も探ろうとする。一方で、番組制作のスタンスは、俯瞰し過ぎているのではないか。こういった番組をオンエアする以上は、番組側のスタンスが見えないと（いけない）。観客の声も聞きたかったし、解説ももう少し専門的な部分まで欲しかった。
 - ⇒今後の検討課題としたい。

審議番組（２）BS スカパー！ オリジナル連続ドラマ「弱虫ペダル」

- ・作品を見て、原作をいじっていない、要はチープではあるが、なおかつ堂々たる予定調和と幼児的神話性、つまり現実離れするほどにドラマに独特のセンスとテンポを与えている。それなりにおもしろい。ただ、CG はもう少し精度を上げてほしい。
 - ⇒続編制作時には CG の部分は気をつけていきたい。
- ・2.5 次元舞台からそのままキャストを引っ張ってきているという、クリント・イーストウッドの「ジャージー・ボーイズ」のようなことをやっているが、これはよくやっている。ただ、高校生役についてはもう少しリアルエイジに近づけてもいいのではないかという気はした。とはいえ、（このキャスティングで）今までにない層の新規加入者が増えたという点では、よかったのだろう。
- ・今後 4 K でドラマを制作する予定はあるか。
 - ⇒以前「螻蛄」というドラマでオール 4 K で制作したが、やってみて（映像は）すばらしいが少しお金がかかる、また設備的にもまだ 4 K カメラを載せたドローン等でそれほど試せていない
 - ⇒ドラマやバラエティなど、著作もスカパー！ がもっているものに関して、海外のメディアから番販の依頼はやはり HDR の方が多い。そうすると海外で売れそうなものを 4 K にするということは、視聴者にきれいな画像で見せる、ということと別の柱として、来年度、再来年度検討していくことはある。
- ・以前ドラマ「ひぐらしのなく頃に」の審議の際もあったが、今の読者、視聴者が求めるものというのは、原作に忠実に、むしろリアリティよりも原作の虚構性を優先する。たぶんリアリティを求めること自体、はやらない時代になってきていると認識しなくては。とはいえ、どこかリアリティを担保することによって虚構性が浮かぶのではないか、と思うのだが。競輪選手の、自転車選手の太ももの太さなどは求めてはいけいないのかと迷う。
 - ⇒今回は、原作ファン、2.5 次元舞台ファンにも訴求したい狙いもあるため、原作に忠実な作りを心がけた。

- ・B.LEAGUE は、（全国 33 都道府県に 45 クラブが存在し、3 地区制で戦うというが）チーム所在地が東高西低、（B1 は）四国、中国、九州には 1 つもない。J リーグ立ち上げの際は、多少地域性を考慮したこともあったかと思うが、この東高西低の地域性が加入者に影響があったりするか。

⇒今のところ、そこまで（B リーグセット）加入者に地域性は見られない。

- ・将来的な展開を考えた場合、B.LEAGUE は日本のスポーツ文化を変えることになると思う。現在、日本では（野球、サッカー等の）スタジアム文化はあるが、アメリカの NBA、NHL のようなアリーナ文化はできていない。逆にチャンスだと思う。日本のスポーツを根底から変えよう、J リーグが第 1 弾であれば、B.LEAGUE が第 2 弾だ、という位置づけの中でやるのであれば、日本の体育館事情から（行政サイド等に働きかけるような）変えていくスキームを作らないと。放送側もそのような部分にも積極的に取り組んでいかないと、なかなか変わらないのでは。

⇒J リーグ立ち上げの際は、（スタジアム内の）カメラ位置等まで意見が取り入れられ、協力体制があったが、B.LEAGUE はサブライセンスで、映像もリーグで制作して（スカパーで）受けているので、今回は立ち居地が違うのでそこまで絡むことができない。

⇒B.LEAGUE の放送権は、スカパーとしては非常に慎重に、少しずつやっていこうと思っていたが、最終的に権利元からサブライセンスという形でプロ野球セットのように事業者と協力してスタートした。サッカーの方は、20 年来やってきたことは守る、ということで、24 時間サッカー専門チャンネル「スカサカ！」を作った。今まで以上に、国内外のサッカーに本気で取り組む。このチャンネルさえ見ていけば、日本のサッカーの全てが分かる、というチャンネルとしていきたい。